

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 中根生弥
 編集人 武山純也

No.456 目次

- ◆New Yearパーティーに参加して…………… (2)
- ◆スキルアップ研修会に参加して…………… (4)
- ◆血液検査研究班 基礎講座に参加して… (5)
- ◆地区だより…………… (6)
- ◆フレッシュセミナー 2020…………… (7)
- ◆2019年度 愛知県臨床検査精度管理
調査報告会の中止について…………… (8)
- ◆広報部よりお知らせ…………… (8)
- ◆講演会・研究会…………… (9)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信 (第65回)…………… (10)

愛知県臨床検査技師会理事を経験して

名古屋大学大学院医学系研究科

医療技術学専攻 病態解析学講座 助教 鈴木 博子

私は20年以上にわたって技師会に携わってきました。最初は血液研究班班員から始まり、研究班班長、学術部理事、愛知県臨床検査標準化協議会 (AiCCLS) 事務局長、精度管理部長を拝命し最後に再び学術部理事の任につき今期で退任させていただくことになりました。

技師会理事としての業務は病院での仕事とは全く次元の異なるもので、やってみなければわからない世界です。日臨技、医師会、病院協会など他団体との関係を理解したうえで、公的文書、会計処理、法律関係の知識や他団体の窓口職員との業務の調整など臨床検査技師として経験したことがないことが必要になってきます。特に他団体との調整が不可欠なAiCCLSではAiCCLS設立10周年記念式典を企画開催するうえで多くのことを学ばせていただき、貴重な経験をすることができました。また精度管理部長を拝命した年はJAMTISを利用したWebでの精度管理調査を開始した年で、実に変な1年でした。愛臨技では初めての試みでしたので多くの方にご迷惑をおかけし色々失敗もありましたが精度管理部長や事務局長が目標に向かって一丸となりOne Teamになれたことは本当に感動的でした。

理事としては10年以上、技師会には20年以上携わってきたわけですが、その間、様々な問題が出来し決断に迷ったこともたくさんありました。しかし、私にはどんなときにも一緒に悩み、助言し、協力してくれる仲間がいました。技師会の仕事に携わっていなければこれほど多くの方と知り合いになれるチャンスはなかったと思いますし、自分を成長させていくこともできなかつたと思います。検査技術の進歩は目覚ましく情報伝達手段も格段に飛躍し、いつでもどこでもあらゆる情報を瞬時に得ることができる世の中になりましたが、どれほど進歩しようとならぬつながりは決してなくなることはありません。未来を担う若い方には是非愛臨技の行事に参加していただき、多くの仲間を増やしていただきたいと思います。そして愛臨技を支える人材となっていきたいと思います。

最後になりましたが、技師会活動でお世話になった皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈りしています。本当にありがとうございました。

New Yearパーティーに参加して

愛知医科大学病院 今井 正人

今年も恒例の愛臨技のNew Yearパーティーが2020年1月17日(金)に国際センタービルにある「東天紅」で開催されました。今年も200名近くの参加で会場は賑わっていました。パーティーの始まりには1月17日が阪神淡路大震災のあった日であったこともあり黙祷が捧げられ参加者一同、冥福を祈りました。

新年を祝うパーティーでありますので会員、賛助会員が飲んで食べて大いに盛り上がっていました。若手からベテランの会員、賛助会員の方々と和気あいあいと話す機会はなかなかないものですから、久しぶりにお会いした人とは「元気？変わらないね～」など話も弾みました。おかげでビールをいっぱい飲みました。(笑)

中根会長が挨拶で今年は技師会設立70周年になるとお話されました。また、愛知県医学検査学会が第20回であることもあり中井学会長の挨拶にも熱がこもっていました。今年も愛臨技は盛り上がっていく！という意気込みが伝わってきました。

そして終盤にはこれまた恒例の抽選会です。今年も豪華な景品が用意され最後の会長賞はディズニー

ペアチケット！そして、今年なんと会長賞を取った人がさらにくじをひいて「幸せのおすそ分け賞」としてさらにディズニーペアチケットが。それが私に当たるとは！当たった瞬間に私と分かる会場からはブーイングの嵐。会長賞の時とは大違い。そんなブーイングに屈することなく「幸せのおすそ分け賞」をありがたくいただきました。

New Yearパーティーは会員が交流するとてもいい機会です。まだ参加したことない皆さん、来年はぜひ参加してください。楽しいですよ。



「New Yearパーティー 2020」に参加して

まさか、初詣のおみくじで“凶”を引いた自分が会長賞なんて!! えらいこっちゃ!!

1月17日に国際センタービル25階「東天紅」にて令和初の「New Yearパーティー 2020」が195名の参加者のもと開催されました。

毎年参加させていただいていますが、正月ボケの頭を「今年も頑張るぞ!!」と切り替えてくれる会でとても楽しみにしています。

パーティーは中根会長のあいさつに始まり、豪華な食事ときれいな夜景を堪能しながら、他施設の会員や賛助会員の方々と交流したりして、楽しい時間を過ごすことができました。

途中、賛助会員のご挨拶や研究班のあいさつがあり、毎年登壇するのが恥ずかしくて逃げ回っていたのですが、今年はずいぶん捕まってしまう壇上に連行されてしまいました。

終盤には抽選会が開催され、豪華賞品を目の前に会場内は大いに盛り上がっていました。「抽選会でいいもの当たったことないし、どうせ凶だし今年はむりだなあ」と思って、抽選会には全く気には留めず、談笑していました。そしたら「25番!! 公立西知

公立西知多総合病院 服部 聡

多の服部…」って聞こえてきて、一瞬何のことやら状況がつかめませんでした。やっと状況がつかめてきて最初に思ったのは「ディズニーのペアチケット…誰と行こう(汗)、誰と行こう??」でした。

なので、ここで一緒に行ってくれる人を募集したいと思います。詳しくは公立西知多総合病院までお願いします。(嘘です!! 誰と行くかは秘密です(笑))

New yearパーティーは他施設の方と親睦を深めることができるので、とても意義があると思います。ただ年齢層が高いので、もっと若い技師さんも気軽に参加してくれるといいなと思います。(いろいろないいことがありますよ!!)

今年は愛知県臨床検査技師会創立70周年、愛知県学会も20回の記念大会、西知多服部生誕40周年とたくさんの節目の年ということで、私自身、一般検査研究班の一員として技師会・県学会を盛り上げていきたいと思っています。

ちなみに、たまたま読んだ雑誌の占いでは12年に1度の幸運が訪れるってありましたので、おみくじの凶よりこちらを信じて1年頑張ります!!



スキルアップ研修会に参加して

JA愛知厚生連 安城更生病院 臨床検査技術科 野村 杏奈

2020年1月26日(日)に行われたスキルアップ研修会に参加させて頂きました。微生物検査室に配属されて2年目となり、他分野の勉強会に参加する機会が減っていたのですが、今回の研修会では2症例を各分野の検査の目線から解説して頂き、診断のためには検査データを総合的にみることが大切であるということ再認識できました。今回の研修会のテーマは『パニック値に迫る！あなたはこの患者を返せますか』でしたので、症例では検査室から臨床側へ直ちに報告すべき検査結果・所見などを含んだ内容になっており、非常に勉強になりました。各分野のコメンテーターの先生方の症例についてのコメントは、日常業務では主に微生物検査に携わっている自身にも大変勉強になる知識が多く、当直業務にはもちろん、日常業務でも役立つことのできる内容

が多くありました。そして、検体の外観など検査過程でしか気付くことのできない内容を、臨床側へ報告することで、患者の診断・治療に役立つこともあるという言葉聞き、検査をデータとして返すだけではなく診療により寄与できる臨床検査技師でありたいと感じました。特別講演では、藤田医科大学ばんだね病院 森雄司先生よりアレルギーについてのお話を聞くことができました。現在、アレルギーはとても身近な存在の疾患となっているため、とても興味深い内容でありました。今回の勉強会をきっかけに今後とも幅広い分野の勉強会に参加し、より広い視野で検査をみることができるようになりたいと強く感じました。今回、このような勉強の機会を与えてくださった方々に心より感謝申し上げます。



お知らせ

愛臨技では、来年度より海外学術関連行事参加への支援を企画しています。

海外での学会発表や臨床検査関連の国際交流等への参加を支援させていただきます。

らぼニュース4月号にて、募集期間等の詳細を案内させていただきます。

血液検査研究班 基礎講座に参加して

JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 呉屋 薫

2020年1月19日に行われた血液検査研究班基礎講座「末梢血液像の基礎」に参加させていただきました。私はまだ業務で血液像を見たことはありませんが、これから血液像を見ていく私にとって、血液像の見方を基礎から学ぶことのできる重要な機会となりました。

講義では、血液像検査の意義から正しい標本作製、各血球の分類におけるポイント、それぞれの疾患について学びました。また、顕微鏡の正しい調整の仕方を学ぶことができ、より良い状態での検鏡をすることが重要であるという事も学ぶことができました。

顕微鏡実習では、普段から血液像を見ている方のグループと、私のように見慣れていない初心者のグループに分かれ、血液像から患者の状態を推測していきました。スタンダードな疾患から教科書でしか見たことのないような疾患まで検鏡する事ができ、とても充実した有意義な時間を過ごさせてもらいました。標本を見終わる度にマンツーマンでの答え合わせや解説をしてくれ、疾患推測につながる血液像の見方を実際の標本を用いて教わりました。検鏡中も分からない血球があると、すぐに質問できる良い雰囲気の中で楽しく学ぶ事ができました。

血液検査研究班の先生方が寄り添って教えて下さったことで、私も血液像をより正しく見て臨床へと繋げたいという気持ちが強くなりました。今回の基礎講座を通して学んだ事を忘れずに、今後の業務の更なる質の向上に貢献していきたいと思います。今回このような勉強会の機会を与えてくださった血液検査研究班の先生方に、この場をお借りして感謝申し上げます。



重工記念病院は三菱重工の企業立病院として1960年に設立され、2018年7月に医療法人桂名会が病院事業を受け継ぎ重工記念病院として新たにスタートしました。整形外科のスポーツ医学を中心とし関節鏡手術をはじめ人工関節置換術など若者から高齢者まで幅広く整形治療を行っており、療養型病棟は回復期リハビリテーション病棟に変更しました。一般病床45床、回復リハビリテーション55床の病院です。

検査科は1フロアに検体検査、生理検査、採血があり、外来患者及びドック、検診を実施しています。設備が古いながらの問題点もありますが、その特徴を生かし検体検査や採血、心電図などは技師全員でできる様にして混雑時等は助けあえる様になっています。また昨年度末より、眼底、眼圧検査も検査科で実施するようになり日々努力しています。

重工記念病院は熱田区にあります。この熱田区には国際会議場（名古屋市が国際コンベンション都市名古屋の中核施設として建造）と日本三大神宮の1つである熱田神宮（伊勢神宮、明治神宮）があります。熱田神宮には歴代天皇が継承してきた三種の神器の1つ草薙の剣（クサナギノミツルギ）が奉納されています。他は八咫鏡（ヤタノカガミ）で日本人の祖先にあたる神様天照大御神（アマテラスオオミカミ）がお祀りされている伊勢神宮に、八咫瓊勾玉（アメノムラクモノツルギ）は皇居に奉納されています。ご祭神の熱田大神（アツタノオオカミ）とは、三種の神器の一つである草薙神剣（クサナギノミツルギ）は天照大神のことで、この草薙の剣の由来は諸説ありますが、天上界を意味し天津神のみが坐す国である高天原（タカマガハラ）で乱暴な行いをして、父・伊弉諾尊（イザナミノミコト）と姉・天照大御神を怒らせた須佐之男命（スサノオノミコト）



重工記念病院

は、地上に追放され、出雲で八岐大蛇（ヤマタノオロチ）を退治します。そのときに化け物の体内から見つかった神剣が草薙の剣です。また捕われていた姫を救いその姫と結ばれた事で須佐之男命（スサノオノミコト）は出雲大社の縁結びの神として祀られています。熱田神宮は良縁だけでなく厄払いを初め、七五三など様々な行事で年中多くの方が参拝しています。熱田区にお寄りの際は熱田神宮で参拝し、後は蓬萊軒でうなぎのひつまぶしも是非ご堪能して下さい。自分も昨年末に熱田神宮を参拝してきました。また年明けには出雲大社に足を伸ばし参拝してきました。一般的な参拝は“2礼2拍手1礼”ですが出雲神社は“2礼4拍手1礼”で参拝します。稲佐の浜の砂を素鷲社（そがのやしる）の砂箱に入れ、砂箱の別の砂を持ち帰り家の四隅に置き厄除けにしています。

稲葉の白兎で知られるうさぎ兔の像が所々にあり、それもまた癒されました。

次は伊勢神宮をゆっくりと時間を掛けて参拝しようと思っています。



国際会議場



国際会議場



出雲大社大しめ縄

フレッシュセミナー 2020

今年も恒例のフレッシュセミナーを企画しました。今年にはコミュニケーションスキルに加え、現場で働く先輩技師や管理者の方からのアドバイス、さらに採血業務の話など様々な内容で開催致します。この春に入職されます新人さんにぜひお声掛けをお願いいたします。なお、例年FAXでの応募でしたが今年度からは技師会のWebからの登録になります。よろしくお願いいたします。

【基礎教科：20点】

日 時：2020年4月19日(日) 9：30～（受付開始）

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階 シスメックスリップルスクエア

アクセス：久屋大通駅 出口3B直結 電話 052-775-8101

会 費：無料

対 象：新入職者（若手・引率技師含む）100名（定員になり次第締め切り）

内 容：①臨床検査技師会の紹介（愛臨技・日臨技） 40分
②社会で求められる「コミュニケーション」について 50分
③先輩技師から新人さんに伝えたいこと 15分
④管理者から新人さんに期待すること 15分
⑤採血業務に必要なこと 30分
⑥意見交換会（軽食・コーヒー） フリートーク

申し込み：日臨技会員未登録及び申請中での参加も可能です。

本年度より愛知県臨床検査技師会ホームページより登録となります。

会員番号（まだない方は、「000000」）、氏名、所属先（自宅会員は住所および電話番号）、TEL（施設）、E-mailを入力してください。

締め切り：2020年4月13日(月)（定員になり次第締め切り）

問合せ先：藤田医科大学 刑部恵介

電話：0562-93-9430

E-mail：aamt@aichi-amt.or.jp

2019年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会の中止について

3月8日(日)に名古屋第一赤十字病院内ヶ島講堂において、2019年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会の開催を予定しておりましたが、愛知県で感染が確認された新型コロナウイルスの影響を鑑み、開催を中止させていただくことと致しました。現時点で代替開催の予定はございません。何卒ご理解ご了承くださいますようお願い申し上げます。

なお、すでにご案内した通り、精度管理調査総括集については愛知県臨床検査技師会ホームページ上で公開しております。また、報告会にて使用予定であった部門別発表スライドにつきましては準備が整い次第、3月9日(月)を目処に同ホームページ上で公開いたします。

直前のご連絡となり、皆様におかれましては大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い致します。また、今後も当会の活動にご支援ご協力いただきますよう、よろしくようお願い申し上げます。

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
精度管理事業部 部長 菊地良介

広報部よりお知らせ

来年度、愛臨技は創立70周年を迎えることとなります。これを記念しまして、毎月発行しております本誌「会報らぼニュース」を新たなデザインへ一新させていただくこととなりました。どのようなデザインになるか、4月号(No.457)が手元に届くのを楽しみにしていただければと思います。

また、今回の新型コロナウイルスの猛威により、今後の予定行事を急遽中止させていただく可能性がございます。開催の有無につきましては愛臨技ホームページにて随時お知らせしますので、ご確認いただくようお願いいたします。

ご不備等ございましたらお問合せいただけますと幸いです。今後とも当会にご支援ご協力いただきますよう、よろしくようお願いいたします。

愛知県臨床検査技師会 広報部 部長
JCHO中京病院 検査部 武山 純也
052-691-7151



AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信
(第65回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発行された刊行物、リーフレット「輸血検査(正常反応編)」についてご紹介いたします。本リーフレットではABO血液型検査を行う上での試験管法・カラム凝集法・スライド法の正常反応について、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

輸血検査 ABO血液型 —正常反応編—

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
leaflet "輸血検査"

I. 凝集反応の分類

1. 試験管法¹⁾

反応強度	凝集像	背景の特徴
4+	1個の大きな凝集塊	透明
3+	数個の大きな凝集塊	透明
2+	中等度の大きさの凝集塊	透明
1+	小さな凝集塊	赤く濁る
W+	ごくわずかな微小凝集	赤く濁る
O	凝集も溶血も認めない	赤く濁る
mf	部分凝集: 凝集と非凝集赤血球の混在	赤く濁る
H(PH)	完全溶血(部分溶血)	赤く透明(混濁)

mf: mixed field agglutination H: Hemolysis PH: Partial Hemolysis

<判定時の注意>

- ・ 明るい場所での白い紙カラムビューアー上で、試験管は目の高さより低い位置で操作する。
- ・ 遠心後、直ちに上層の溶血の有無を確認し、赤血球沈渣(セルボタン)を上にして試験管を傾け、流れ出す様子をよく観察する。
- ・ すべての赤血球が管壁からはがれた時点で反応の強さを分類し記録する。
- ・ 試験管は抗Aと抗Bの2本ずつ、A₁赤血球とB赤血球の2本ずつ持ち、同時に観察する。

2. カラム凝集法

反応強度	ピースカラムの反応像(例)	ゲルカラムの反応像(例)
4+	ほとんど全ての赤血球がバンド状にカラム上に凝集。また、極めて少量の赤血球がカラム底部に見られることがある。	すべての赤血球がゲル層上に分布
3+	凝集した赤血球の多くは主としてカラム上半分に観察される。また、少量の赤血球がカラム底部に見られることがある。	ほぼすべての赤血球がゲル層上部1/2以内
2+	凝集した赤血球がカラム全体に観察され、同時にわずかな赤血球がカラム底部に見られる。	赤血球がゲル層下部〜下部まで全体に分布
1+	多くの赤血球がカラム底部に見られ、かつ比較的小さな凝集塊がカラム中に観察される。	ほぼすべての赤血球がゲル層下部1/2以内
±	陽性(+)と陰性(O)の中間に分類される。この場合、非常に弱い反応が検出されている可能性がある。	陽性(+)と陰性(O)の中間に分類される。この場合、非常に弱い反応が検出されている可能性がある。
O	ほとんど全ての赤血球がカラム底部に沈降してあり、カラム中には凝集塊は形成されていない。ただし、極めて少量の赤血球がカラム上部及びカラム中に観察される。	すべての赤血球がゲル層下部(底部)に分布
MF dp	凝集赤血球の塊、赤く凝集した赤血球がカラム上部にバンドを形成すると同時にカラム底部には凝集しない赤血球が沈降して沈降している。	部分凝集(混合凝集) 同一チューブ内に陽性と陰性像が混在

MF: Mixed Field agglutination dp/dcp: double cell population

資料提供: オート・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

II. ABO血液型の反応像(例) —試験管法^{※1}、カラム凝集法^{※2}—

血液型	試験管法		カラム凝集法	
	オモ子検査	ウラ検査	オモ子検査	ウラ検査
A型	抗A(4+) 抗B(O)	A ₁ 赤血球(O) B赤血球(4+)	抗A(4+) 抗B(O)	A ₁ 赤血球(4+) B赤血球(4+)
B型	抗A(O) 抗B(4+)	A ₁ 赤血球(4+) B赤血球(O)	抗A(O) 抗B(4+)	A ₁ 赤血球(4+) B赤血球(O)
O型	抗A(O) 抗B(O)	A ₁ 赤血球(4+) B赤血球(4+)	抗A(O) 抗B(O)	A ₁ 赤血球(4+) B赤血球(4+)
AB型	抗A(4+) 抗B(4+)	A ₁ 赤血球(O) B赤血球(O)	抗A(4+) 抗B(4+)	A ₁ 赤血球(O) B赤血球(O)

※1 試験管法: 3+以下の凝集は再検査をお勧めします。「輸血検査 ABO血液型—正常反応編」を参照
※2 カラム凝集法: 「3+~4+」を正常判定とする試薬もあるため、各試薬メーカーの添付文書および判定基準に従う。

<ABO血液型の判定基準> (Landsteinerの法則) 上: 凝集 O: 非凝集

オモ子検査(赤血球側)			ウラ検査(血漿・血清側)		血液型
抗A	抗B	判定	A ₁ 赤血球	B赤血球	
+	O	A型	+	+	A型
O	+	B型	+	O	B型
O	O	O型	+	+	O型
+	+	AB型	O	O	AB型

III. ABO血液型の反応像 —スライド法—

スライド法の特徴: 反応開始時間や反応過程を観察することができ、部分凝集が観察しやすい。

A型 抗A(+) 抗B(O)	B型 抗A(O) 抗B(+)
O型 抗A(O) 抗B(O)	AB型 抗A(+) 抗B(+)

<判定基準>

判定結果	凝集	背景
+	あり	清澄
O	なし	赤く濁る
mf	部分凝集	赤く濁る

IV. 参考文献

1) 一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会、一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会: 輸血テクニカルセミナー2015。

実技テキスト vol.12: 6、2016。

【発行者】愛知県臨床検査標準化協議会 (AiCCLS) 輸血検査部門

【問い合わせ先】〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目16番17号 花車ビル南館1階
公益社団法人 愛知県臨床検査技師会事務所内 愛知県臨床検査標準化協議会事務局
Tel 052-581-1013 Fax 052-586-5680 2017.5. Ver.1

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization